

【開催報告】

日中省エネルギー・環境総合フォーラムに向けた 日中グリーン発展省エネ・環境技術交流会（蘇州）

一般財団法人 日中経済協会

日中経済協会は、中国側指導単位である国家発展改革委員会資源節約環境保護司、国家発展改革委員会国際合作中心と、中国側主催単位である蘇州国家高技術産業開発区管理委員会、清華蘇州環境創新研究院と、日本側の経済産業省との共催により、表題の交流会を開催いたしました。約290名の日中関係者が出席し、日本側から経済産業省通商政策局北東アジア課、中国側からは国家発展改革委員会環境資源司、同国際合作中心、蘇州高技術産業開発区党工委からも来賓がありました。

翌10月25日には日本側企業の希望者と、蘇州で省エネ・環境事業に取り組む日中の企業を視察しました。

日時：2019年10月24日（木）9:00～16:30

場所：ホテル・ニッコー蘇州（苏州日航酒店/ Hotel Nikko Suzhou）

江蘇省蘇州市高新区長江路368号

開催機関：

日本側：経済産業省

日中経済協会

中国側：

指導単位：国家発展改革委員会資源節約環境保護司

国家発展改革委員会国際合作中心

主催単位：蘇州国家高技術産業開発区管理委員会

清華蘇州環境創新研究院

参加：日本側・20社、中国側・94社

1. 開会あいさつ（9:00～9:40）

開会にあたり、日中4名の来賓よりご挨拶いただきました。

（1）王静波 国家発展改革委員会環境資源司処長

長期にわたり、国家発展改革委員会と日本経済産業省、日中経済協会は経済貿易分野での密接な協力を保持しております。特に省エネ環境の分野において相互の認識度、相互補完性が高いことは、両国間での経済・貿易協力を行う上での輝かしい点です。本日、日中の多くの企業がこの技術交流会に参加しており、ぜひこの機会に十分に交流し、理解を深め、協力領域を広げていただきたいと思います。また、この蘇州・高新区でより多くの日中協力による省エネ・環境保護プロジェクトを促進し、成功させたいと思います。

(2) 飯田大介 経済産業省通商政策局北東アジア課企画官

両国総理の相互往来を通じて日中関係は完全に正常な軌道に戻りました。このような中、経済産業省といたしましても省エネ・環境協力、第三国市場協力・中国市場のビジネス環境整備等の協力など日中経済交流を進めております。特に、日中省エネ・環境総合フォーラムは、今年で第13回になり、昨年までに360件を超える、協力案件の調印が成立するなど、省エネ環境分野における日中協力の重要なプラットフォームとして定着しています。省エネ・技術交流会は今年で4年目、計58件の商談がビジネスに繋がるきっかけとなり、昨年のフォーラムにおいては2件の協力案件の調印が成立しました。今回の交流会でも12月開催のフォーラムにおける調印案件の成立に結びつくことを願っております。

(3) 杉田定大 日中経済協会専務理事

開催地の蘇州高新区は、日本を代表する企業など500社以上の日系企業が進出する、以前より日中ビジネスが活発な場所で、現在も、皆様のご関心が衰えていないことを実感しています。本年12月8日には、東京で第13回となる日中省エネルギー・環境フォーラムを開催いたします。両国政府関係者による省エネルギー・環境分野における新たな協力分野の提案や、両国企業等によるビジネスマッチングなどを通じてアライアンスの促進を図るものです。この技術交流会は12月のフォーラムに繋げるためのものであり、今回のビジネス交流の成果が、フォーラムにおいて披露されることを期待するとともに、日本と蘇州の関係の更なる緊密化を祈っています。

(4) 呉新明 蘇州高新区党工委书记

現在、日中の友情は継続的に増進し、相互協力は絶えず深化しています。日本企業は世界に先駆けた省エネルギー環境保全技術と先進的な環境に配慮した経営理念を持ち、太陽光発電・水素燃料電池技術・バイオマス変換技術などは世界最高レベルです。今回の技術交流会開催は日中企業、研究機構、地方政府等などの、省エネ環境保護分野で協力するためのプラットフォームを構築し、高新区の省エネルギー環境保護産業の発展を促進するでしょう。私たちはより胸襟を開き、よりよいサービスでもって、世界一流のビジネス環境作りに力を入れていきますので、高新区とご縁のあるすべての皆様、一緒により素晴らしい未来を創っていきましょう。

主催者挨拶の後に続けて、蘇州高新区のPRビデオが上映されました。



2. 日本企業による技術・設備プレゼンテーション（10:00～12:00）

日本企業 12 社が、技術・製品について各社 9 分程度のプレゼンテーションを行いました。各々の製品・サービスの特長や技術の応用例、さらにデモンストレーションを用いた説明もありました。

<プレゼンテーション企業(12社)>

1. 株式会社トヨックス
2. 富士電機株式会社
3. 株式会社フジタ
4. 堀場(中国)貿易有限公司
5. 太平洋セメント株式会社
6. 上海速宜環境科技有限公司
7. アズビル株式会社
8. 三浦工業株式会社
9. 茶谷産業株式会社
10. エンバイオ(南京)環境技術有限会社・日本財産保険(中国)有限公司
11. 株式会社トーワ建設
12. 株式会社 J&C

3. 専門家技術コメント

11:05～11:15 清華大学環境学院 黄霞教授

12:15～12:25 清華大学環境学院 劉翔教授

黄教授、劉教授よりプレゼンを行った企業の技術・サービス等について、解説や中国市場でどのような将来性があるかなどのコメントをいただきました。

4. 企業マッチング（13:30～16:30）

会場に設営された商談エリアにてビジネスマッチングを行いました。マッチングは13時30分より一時間、1ラウンドあたり15分の商談を4ラウンド行い、その後14時30分からは自由交流を行いました。日本企業は16社が参加し、中には20社近く商談を行った企業もありました。

今回は、マッチング交流会と並行して、中国企業によるミニプレゼン（技術の宣伝と紹介）の会場も設け、中国側の技術を発信する場としても活用いただきました。

<日本側マッチング参加企業（16社）>

1. アズビル株式会社
2. エンバイオ（南京）環保技術有限公司・日本財産保険（中国）有限公司
3. 太平洋セメント株式会社
4. ハイケム株式会社
5. 株式会社J&C
6. 株式会社トーワ建設
7. 株式会社トヨックス
8. 株式会社フジタ
9. 三浦工業株式会社
10. 上海速宜環境科技有限公司
11. 雪ヶ谷化学工業株式会社
12. 大器環保工程（大連）有限公司上海分公司
13. 茶谷産業株式会社
14. 富士電機株式会社
15. 堀場（中国）貿易有限公司
16. 上海リーグ法律事務所



<p><中国側マッチング参加企業（62社）></p>	<p>37. NGK（苏州）环保陶瓷有限公司</p>
<p>1. 清华（苏州）环境创新研究院水质与水生态院士创新站</p>	<p>38. 苏州高新区苏新立创环境科研技术有限公司</p>
<p>2. 德拉明中国办事处</p>	<p>39. 苏州国家环保高新技术产业园发展有限公司</p>
<p>3. 江苏得瑞优环保设备科技有限公司</p>	<p>40. 中国进出口银行总行</p>
<p>4. 苏州政和化工环保有限公司</p>	<p>41. 苏州乐轩科技有限公司</p>
<p>5. 苏州协鑫光伏科技有限公司</p>	<p>42. 申贝科学仪器（苏州）有限公司</p>
<p>6. 苏州国环环境检测有限公司</p>	<p>43. 苏州乔发环保科技股份有限公司</p>
<p>7. 佳能（苏州）有限公司</p>	<p>44. 苏州和青环境科技有限公司</p>
<p>8. 苏州达克顺工业科技有限公司</p>	<p>45. 苏州文垚过滤有限公司</p>
<p>9. 苏州中环建科环境科技有限公司</p>	<p>46. 苏州绿蓝环保服务有限公司</p>
<p>10. 苏州源成铝制品制造有限公司</p>	<p>47. 亿和精密工业（苏州）有限公司</p>
<p>11. 苏州富士胶片映像机器有限公司</p>	<p>48. 江苏中澄环保科技有限公司</p>
<p>12. 苏州市亘晟涂装工程有限公司</p>	<p>49. 苏州科太环境技术有限公司</p>
<p>13. 江苏康源环保科技有限公司</p>	<p>50. 苏州市伏泰信息科技股份有限公司</p>
<p>14. 苏州己任环保科技服务有限公司</p>	<p>51. 爱普生精密电子（苏州）有限公司</p>
<p>15. 江苏碧峰环保科技有限公司</p>	<p>52. 北京中岩大地科技股份有限公司</p>
<p>16. 亚智系统科技（苏州）有限公司</p>	<p>53. 爱环吴世（苏州）环保股份有限公司</p>
<p>17. 松下半导体元器件（苏州）有限公司</p>	<p>54. 今专企业有限公司</p>
<p>18. 苏州纳故环保科技有限公司</p>	<p>55. 苏州星恒电源股份有限公司</p>
<p>19. 苏州苏净环保工程有限公司</p>	<p>56. 骊住卫生洁具（苏州）有限公司</p>
<p>20. 苏州同和环保工程有限公司</p>	<p>57. 豪雅光电科技（苏州）有限公司</p>
<p>21. 华努迪克（苏州）电子有限公司</p>	<p>58. 清华苏州院-微波等离子体固废处理团队</p>
<p>22. 力神电池（苏州）有限公司</p>	<p>59. 环创（厦门）科技股份有限公司</p>
<p>23. 苏州环创建材科技有限公司</p>	<p>60. 清华苏州院-基金对接办</p>
<p>24. 苏州八达通文化咨询有限公司</p>	<p>61. 苏州众勤会计师事务所</p>
<p>25. 世联汽车内饰（苏州）有限公司</p>	<p>62. 苏州市东宏环保科技有限公司</p>
<p>26. 南京三万物联网科技有限公司</p>	
<p>27. 苏州高新环保产业发展公司</p>	
<p>28. 苏州科特环保股份有限公司</p>	
<p>29. 苏州新吴光电科技有限公司</p>	
<p>30. 苏州云白环境设备股份有限公司</p>	
<p>31. 苏州市润凯汽车配件制造有限公司</p>	
<p>32. 苏州优科豪马轮胎有限公司</p>	
<p>33. 苏州福田金属有限公司</p>	
<p>34. 苏州市宏宇环境科技股份有限公司</p>	
<p>35. 苏州勋达环保科技有限公司</p>	
<p>36. 苏州苏高新能源服务有限公司</p>	

5. 企業視察（10/25（金） 8:45～11:15）

今回は中国ローカルと日系、2つの企業を見学いたしました。

中国企業の蘇州星火環境浄化股份有限公司は1997年に設立し、危険廃棄物の処理や企業向けの環境保全管理のコンサルティングなどを主要事業としています。本社にて会社概要や業務の特徴について説明を受けると、参加者からは廃棄物の処理方法や今後必要な技術についてなど、事業協力の可能性を探る質問が出されていました。その後、同社の廃水処理場にて処理工程と設備を見学しました。異臭もなく、整然と設備を管理している様子が伺え、「教科書のように基礎がきちんとしている廃水処理場」と参加者には高評価でした。

日本企業のNGK（蘇州）環保陶磁有限公司は、日本ガイシ株式会社の出資により2001年に設立されました。同社は自動車排ガス浄化用セラミックスを製造していますが、今回見学しました工場は今年12月から稼働が予定されており、ガソリン車用のPM（粒子状物質）除去フィルター（GPF）の生産拠点になります。各製造過程でどのような加工を行っているのかサンプルを用いた説明を受け、オートメーション化された最新の製造設備や技術を見学しました。

